



10/16(火) 第二あゆみの家 ふじグループ 旬彩の森 道の駅に

あゆみの家

No. 118号

十一月と障害

十一月は師走(しわすい)とも呼ばれます。日増しに慌ただしくなり、年末を迎えることとなりますが、この十一月と障害との関わりを思い起こしてみます。

先日、JR岐阜駅前で通行する人たちにクリアファイルを配布しました。その内容は、障害者差別解消法の理解を求める「知ってください! 『障害者差別解消法』というチラシ」、「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる『人にやさしい岐阜県に』岐阜県 合理的配慮ハンドブック」という小冊子、援助が必要な人のためのマークである「ヘルプマーク」のチラシなどです。このファイルは岐阜県障害福祉課で準備され、障害者週間に伴って啓発活動として実施されたものです。障害者週間は、全ての国民が、障害の有無によつて分け隔ちられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現するためには、障害及び障害のある人に対する国民の理解と関心を広く深める必要があることから、毎年十一月二日～九日が「障害者週間」と定められ、全国でさまざまな取組・行事が行われています。

十一年前(二〇〇六)の十一月十二日には国連総会で「障害者の権利条約」が採択され、障がいのある人たちの様々な権利が明確にされました。今から七〇年前の一九四八年十一月十日は、同条約の礎となる世界人権宣言が誕生した年です。

このように思い起こしてみると、十一月は障害のことを考える良い時期です。師走だからこそ、ちよつと立ち止まって前述の条約や宣言などの精神や時代背景などに思いを馳せてみたいものです。

地域で暮らし続ける

理事(総合施設長) 田口 道治



二〇一八(平成三〇)年は、医療、介護、障害の三分野で報酬改定が行われました。障害の分野では、「障害者の重度化・高齢化を踏まえた、地域移行・地域生活」の領域で次の四つの事項について、新設報酬や加算という形で新たな報酬が設定されました。

- 一、重度の障害者への支援を可能とするグループホームの新たな類型を創設
- 二、「自立生活援助」の報酬を設定
- 三、地域生活支援拠点等の機能強化
- 四、共生型サービスの基準・報酬の設定

一は、「日中サービス支援型共同生活援助」と呼ばれ、障害者の重度化・高齢化に対応できるグループホームの新たな類型として創設された新事業です。二は、今年度から施行された一人暮らしの障害者を支援する新事業です。三は、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、障害者の生活を地域全体で支えるため、居住支援のためのサービス提供体制整備を目的とするもので、今年度から見直された第五期障害福祉計画に掲げられています。四は、介護サービス事業所が共生型障害福祉サービスの指定を受けたり、その反対に、障害福祉サービス事業所が共生型介護サービスの指定を受け易くすることにより、障害者の六五歳問題等に対応しようにするものです。

これらはいずれも、障がいのある人たちが地域で暮らし続けるこ

とを容易にするための施策です。二〇一八年八月時点の国保連データによれば、グループホームで暮らす障がい者は十一万八千三百三十五人となっており、入所施設で暮らす十二万九千二百五人に迫ってきました。これからもグループホームなどの居住支援を通して、地域で暮らす障がい者は増加していきます。障がいのある人たちが、地域の中で安全に、そして安心して暮らし続けられるようになるためには、①地域住民の理解・協力とあたたかい心、②日々の生活を支える人たち(支え手)、の二つが不可欠となります。

①については、高齢や介護について関心のある地域住民はある程度予想できますが、障がいのある人たちに対する地域住民の理解・関心はどれくらいあるのでしょうか。また、②についても少子高齢化が急ピッチで進行する現在、支え手の確保そのものが困難になってきます。支え手の確保をどうしていくのか、障がい福祉サービス従事者だけでなく、行政、そして地域住民も一体となって考えていかなくはならない時期に置かれています。最近、「地域共生社会」や「我がごと・丸ごと」などの言葉を各所で見たり聞いたりするようになりまし。福祉行政の施策課題としても「地域共生社会」が上位に掲げられるようになってきたのです。わが国で「ノーマライゼーション」という言葉が語られるようになった約四〇年前に比べると隔世の感がありますが、現在の「共生」は人口動態の変化などにより必然性を伴っているように思われます。多くの人たちが関心を持ち、それぞれの知恵を出し合うときに来ています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「いと高きところには栄光、神にあれ
地には平和、御心(みこころ)に」

適(かな)う人にあれ」

(ルカによる福音書：二章一四節)



自由館が新しくなりました！

今まで主に「デイセンターあゆみの家」の食堂と「きずな2006」の事務所として使用していた建物が解体され、新しい建物ができました。名称は従来通り「自由館」です。九月二七日に竣工式が行われました。

一階には「デイセンターあゆみの家」の食堂、本部事務所、相談室、打合室ができました。西隣にあるデイセンターあゆみの家からは屋根のあるスロープでつながっているため、雨にぬれずに、靴を履き替えずに移動することができるようになりました。相談室や打合室は、相談支援事業所「ゆう」や本部事務所の来客者の話し合いの場として使用されています。

二階には、調理室、会議室、ボーマンホール、宿泊室、浴室、備蓄倉庫があります。調理室は、利用者によるパン作りなどに使用されます。会議室は理事会、評議員会などに使用されます。ボーマンホールでは先日、合同職員研修会が行われました。宿泊室は三部屋あり、利用者の緊急時や、実習生の宿泊



玄関（北側）



全景（南東から）



デイセンターあゆみの家 食堂(1F)



調理室(2F)

場所として使用されます。また、備蓄倉庫もあり地震などの緊急時には自由館全体が福祉避難所としての機能も果たせるよう検討されています。



相談室(1F)



会議室(2F)



ボーマンホール(2F)

ボランティア活動を通して

林町デイセンター 生活支援員 上津 泉帆

林町デイセンターHappiness(ハピネス)グループは、昨年度から結成され、現在は八名で活動しています。利用者の中には、医療的ケアが必要な方や、外出する事が難しい方もみえ、最初は自分たちにどんな活動ができるかと、模索しながら活動を始めました。その中で、「自分達が外へ行くことが難しいのであれば、外部の方を林町デイセンターに招き、自分たちの事を知ってもらおう」ということになりました。

その結果、現在では大垣市社会福祉協議会のボランティア市民活動支援センターに登録されている方や、保護者のご紹介でボランティア活動をされている方々に、一カ月に一度来て頂いています。

これまで、大道芸や尺八演奏、絵画教室など様々な分野のボランティアの方々に来て頂きました。利用者にとって、初めて経験する事柄も多く、とても楽しまれ、充実した時間を過ごすことができています。

しかし、利用者の中には笑顔で楽しさを表現する事が難しい方や、嬉しい時に大きな声を出してしまう方もみえます。私たち支援者には利用者が楽しまれていく様子が感じ取れても、ボランティアの方には伝わりづらく、利用者が怒っているのではないか、楽しんでいないのではないかと不安に思いながら活動されていたことに、私たちは次第

に気が付きました。

利用者の喜びの声ボランティアの方に届かなかつたのは、私たち支援者の力不足であり、もっと利用者の想いを具体的に伝える必要があると思いました。

そこで、ボランティア活動の最後に、利用者みなさんに感想をお聞きし、そこから支援者が気持ちを代弁したり、「この方のこんな姿は楽しい想いを表現しています。」と表現方法をお伝えすることにしました。そうすることで、ボランティアの方々も利用者の方々を理解して下さり、お互いに笑顔で楽しむことができるようになりました。

この出来事を通し、私たち支援者は、もっと多く方に林町デイセンターの利用者の特性を知っていただき、積極的に関わることができるよう支援の方法が必要だと学びました。

今後も、多くのボランティアの方々をお招きし、「林町デイセンター」を深く知って頂けるような活動を続けていきたいと思えます。



大道芸ボランティアの
バルーンアートに笑顔いっぱい



自由な発想で絵画に挑戦！

デイセンターの夏祭り

デイセンターあゆみの家 生活支援員 野村 優衣

早いもので今年も締めくくりの時期となりました。クリスマスにお正月と、楽しいことがたくさん控えていますね。

日本人は昔から四季をととても大切にし、それぞれの季節にまつわる行事をおこなってきました。デイセンターでも、様々な年中行事を取り入れることで、季節の移り変わりを感じたり、気分転換も兼ねた非日常や、日本の文化に触れる機会を利用者の方々に提供しています。

今年も八月には、お楽しみ活動として夏祭りを行いました。デイセンターの夏祭りは、模擬店があったり、お客さんを招いたりといった大がかりな物ではありませんが、盆踊りのやぐらや、ゲームコーナーを各グループで分担し、すべて手作りで作り上げます。そこには規模が小さいからこその一体感と、手作りならではの温かい雰囲気があります。

前日には中学生のボランティアの皆さんと、会場作りを行いました。当日は、午前中に盆踊り大会、午後からゲームコーナーを周り楽しみました。中には自宅から甚平を持参され、やる気満々の方もみえます。司会進行や、ルール説明もすべて利用者の方に行って頂き、スタッフはサポートに回ります。少しばかりのトラブルも御愛嬌です。



元気に踊りました！



千本引き、楽しいな。



太鼓をならしてドンドン



輝いてみえた四名

盆踊り大会では、ある利用者さんが、学生の頃に腕を磨いた太鼓を披露して下さり、体に直接響いてくる、迫力のある演奏と共に、皆さん思い思いの楽しみ方で参加されました。コンテストも取り入れ、中でも輝いてみえた四名を選出し、手作りの賞状とメダルで表彰しています。ゲームコーナーでは、各グループが工夫を凝らして作った、魚釣り、輪投げ、千本引きの三種があり、各々好きなように周り、景品のお菓子獲得を目指しました。

今年も利用者の方々の笑顔を、たくさん見ることができました。これからも様々な年中行事を取り入れていくことで、デイセンターでの生活に潤いを感じて頂きたいと思えます。

あゆみの家祭

ぐっどらんど

生活支援員 小島直城

一〇月六日、今年もあゆみの家祭が例年通り開催されました。毎年利用者の皆さんが楽しみにされている行事の一つで、私達ぐっどらんどでも当日を今か今かと待ち望んでいました。出し物の準備では何を行うか、どのようにしていくかを利用者全員で話し合い、グループの中で実行委員を決めてその人たちを中心にして準備、練習を行いました。作業の合間をぬつての練習は、時間もあまり長くは取れないこともあり、最初は振り付けや立つ位置等、一連の流れで戸惑うことも多くありましたが、練習を重ねていくうちにスムーズに動けるようになり、振り付けの完成度も高まってきました。

当日は残念ながら雨天となり、縮小版として開催することになり、皆さんが楽しみにされていた喫茶コーナーや模擬店等は中止となってしまうましたが、各グループの皆さんが一所懸命練習した出し物で盛り上げてくださり、ゲストの素晴らしいジャグリングステージもありました。楽しさのうちに無事に終えられた事をお礼申し上げます。

この三年間は雨続きとなり、フルバージョンでのあゆみの家祭が開催できませんでした。来年こそは青空の下であゆみの家祭が開催できることを切に願っております。



利用者みなさんのメッセージ



ぐっどらんどの発表



ゲスト（ジャグリング）の出し物



じゃんけんゲーム

出来事ピックアップ



ぐっどらんど(8/23)
24時間テレビ募金会場



林町デイセンター(8/18)
水まんじゅう作り



きずな2006(9/23)
ふれあいコンサート



すまいるらんど(9/21)
長浜黒壁スクエア キャンドル体験



デイセンターあゆみの家(11/16)
養老ランドへ



第二あゆみの家(9/26)
いちようG アクアトト外出

行事予定

12/22 (土) クリスマス祝会
12/25 (火) クリスマス礼拝

最近のできごと(8/5~11/30)

8/22(水)映画鑑賞(テレセンターあゆみの家)
8/23(木)24時間TVチャリティバザ-募金会場
(ぐっどらんど)
8/30(木)夏祭り(林町テレセンター)
9/ 2(日)在職者交流会(就業・生活支援センター)
9/ 8(土)生きがい創出事業 地域交流会
手影絵鑑賞(テレセンターあゆみの家)
9/16(日)合原地区運動会参加
(第二あゆみの家、きずな2006)
9/17(月)垂井町ふれあい長寿フェア参加(きずな2006)
9/23(日)海津ふれあいコンサート(きずな2006)
9/24(月)ドリームスポーツ大会参加(きずな2006)
9/26(水)福祉ネットワーク会議(就業・生活支援センター)
9/28(金)ぐっどらんど全面改築 起工式
10/ 3(水)ホプテラG 一日外出(第二あゆみの家)
10/ 6(土)あゆみの家祭
10/11, 10/25, 11/1, 11/8 日帰り旅行(林町テレセンター)
10/12(金)えーるG 一日外出(第二あゆみの家)
10/12(金)夜間避難訓練(第二あゆみの家)
10/23(火)綾里保育園交流会(ぐっどらんど)
10/27(土)在職者交流会(就業・生活支援センター)
10/29(月)さつまいも堀り(テレセンターあゆみの家)
10/30(火)別荘ホーム 起工式(きずな2006)
11/ 9(金)やなぎG 一日外出(第二あゆみの家)
11/16(金)養老ランドへ(テレセンターあゆみの家)
11/17(土)合同職員研修会

ふれあい交流(8/1 ~ 11/30)

延べ: 6回 67人
<学校名>
高田中学校

ボランティア(8/1 ~ 11/30)

延べ: 96回 114人
(団体: 60回85人・個人: 36回29人)
<ボランティア、学校名>※順不同
友の会、アクアメディア、大垣女子短期大学
大垣桜高等学校

養老名鉄レストラン食事サービス



11月28日(水)
養老名鉄レストランによる
食事サービス
がありました。
みなさん、お
いしそうに食
べられていま
した。
ありがとう
ございました。



編集後記

今年は、6月に大阪北部地震、7、8月に豪雨による洪水、9月には台風21号が通り過ぎたと思ったところに北海道胆振東部地震が起き、本当に多くの災害がタテ続きに発生しました。あゆみの家でも、台風21号の際、約27時間という長い時間停電となりました。このような長い停電ははじめての経験でした。大地震が発生するとさらに数日間の停電する可能性が高く、大地震のための良い教訓を得ることができました。また、今年にあゆみの家で大きな事業が進められています。自由館を建て替えて、新しい自由館が完成しました。また、現在、ぐっどらんど及び別荘ホームの建設工事が進められており、来年3月に完成の予定です。これらの事業が無事に完了し、新しい設備の下でさらに利用者さんの生活の質が向上することを願っています。(小林)

編集: 社会福祉法人あゆみの家
〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原2066-2
Tel 0584-22-4333 (代) FAX 0584-22-4344

URL <http://www.mirai.ne.jp/~ayumi>
E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp

グループホームのご案内

- | | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|------------------------------|
| ●あゆみホーム
Tel 0584-82-3056 | ●めぐみホーム
Tel 0584-22-3712 | ●東神田ホーム
Tel 0584-22-2264 | ●岩手ホーム
Tel 0584-22-3032 | ●養老公園ホーム
Tel 0584-34-3170 |
| ●青柳ホーム
Tel 0584-89-6231 | ●綾野ホーム
Tel 0584-92-2405 | ●表佐ホーム
Tel 0584-23-3305 | ●習南ホーム
Tel 0584-22-5079 | ●あいかわホーム
Tel 0584-23-0822 |